

平成28年度第5回石狩市行政改革懇話会

日 時：平成29年3月17日（金）10：00～

場 所：石狩市役所3階 庁議室

出席者：次のとおり

委 員			職 員	
役職	氏 名	出欠	所 属	氏 名
会長	角川 幸治	○	（事務局）総務部長	及川 浩史
副会長	飯尾亜紀仁	○	（事務局）総務部行政管理課長	森本 栄樹
委員	能村久美子	○	（事務局）総務部職員担当主査	宇野 博徳
委員	松谷 初代	○		
委員	向井 邦弘	○		
委員	柴田由美子	○		
委員	橋本フミエ	○		
委員	上木 智子	○		

傍聴人：0名

事務局：森本行政管理課長から開会宣言

●角川会長からご挨拶いただき、その後引き続き議事進行をお願いします。

【角川会長】

みはなさんおはようございます。

過去4回までの懇話会での意見を十分に生かされた最終の形になっていると思うが、忌憚ないご意見いただきたいので、最後まで慎重な審議をお願いします。

それでは、始めに現行計画である行政改革2016の第5次実施計画の進捗状況について及びその取り扱いについて事務局から説明をお願いします。

【事務局：宇野主査】行政改革2016第5次実施計画の進捗について

I 行政改革2016の第5次実施計画のポイント

第5次実施計画で新たに追加された事業を中心に進捗状況を説明します。

- ①「北石狩衛生センターし尿処理業務の委託化」については、札幌市への委託をもって実施済みです。
- ②「歴史資料の整理編纂」については、歴史資料の整理は実施済みであり、H29に編纂に取り組むこととなっております。

- ③「人事評価制度の導入」については、国の制度に準じ、業績評価と能力評価により評価制度を試行として実施しております。
- ④「防災ポータルサイトの構築」については、スマートフォンやタブレットに対応するシステムとしている。「証明書等コンビニ交付システムの導入」については、マイナンバーカードによって交付できるシステムであり、いずれも運用開始しております。
- その他として、『石狩市総合保健福祉センター（りんくる）窓口のワンストップ化』については、相談窓口を一本化し、スムーズにサービスにつなげることを目的に、りんくる施設の改修を行い実施済みとなっております。

【角川会長】

ただいまの第5次実市計画に関する説明に対しでご確認、ご質問あればお願いします。

【向井委員】

石狩市におけるマイナンバーカードの交付率はどの程度か。

【事務局:宇野主査】

市民課に問い合わせましたところ、7.4%(3月17日時点)となっております。

【能村委員】

歴史資料の整理編集について、どのような歴史資料を整理したのか。また、所管が教育委員会ではなく、情報政策課となっているのはどうしてか。

【事務局:及川部長】

石狩湾新港が石狩の地にできた歴史的な経緯や石狩市域の一部を小樽市に割譲した経緯も含めて、石狩湾新港の成り立ちに関する歴史資料を整理し年表をつくる作業となります。平成29年度にはこれを本にするという事業に取り組みます。

情報政策課が所管であるのは、歴史文書を所管しているからです。

【飯尾副会長】

人事評価制度について、実際に能力や業績の評価についてどのような国の指針があったのかをお聞きしたい。

【事務局:森本課長】

国では平成21年度から取り組んでおりますが、本市はこれまで、業績評価は管理職以上は試行で導入し、一般職についても目標管理という形で取り組んできたところです。

国の法律改正を受けて、業績と能力の2つの評価を試行で今年度から導入しているところです。具体的には、業績は前期と後期に分けて目標を立てる。後期は仕事に対する目標を立てて、自己評価を踏まえて管理職が評価することとなっています。

能力評価については、年1回の評価であり、石狩市の人材育成方針に基づく役職ごとに

求められる能力により、評価をすることとなっている。

国は評価結果を任用、給与に反映するよう示しているが、本市としては、任用の一部に取り入れることにしている。試行を通してどのような制度にするか検討していくものと考えている。

【飯尾副会長】

あくまでも自己評価ということか。

【事務局:森本課長】

自己評価を元に管理職が面談を通して評価することとなっております。

【角川会長】

実際どのような成果が表れているか。

【事務局:森本課長】

仕事場で管理職が部下と業務目標についてコミュニケーションする時間は中々とれないが、この制度により最低でも年 2 回ディスカッションの場を設けてはお互いの考え方を話し合い、仕事の進め方などを確認しあう機会という意味では評価をされている。

【角川会長】

非常によい取り組みと思う。当社でも 4 月から本格的に取り入れる予定である。

民間では年 4 回の割合で実施しているところもあると聞く。能力や実績に応じて給与に反映している。社員のモチベーションにも影響する。改革の一手法として効果が期待できるのではないか。

【向井委員】

再任用制度は効果的な活用が図られているか。

【事務局:森本課長】

再任用については、年金制度と関連して給付年齢に達するまでの生活保障として導入された経緯があることから、こうした事情も踏まえつつ、今後継続していく上で現在本市の課題としては現役のサポート体制を充実させるとともに、再任用者の生活スタイルも含め年金給付までの保障も機能させつつ、本人にとっても組織にとってもよい制度にしていくことであります。

【向井委員】

職員の能力が行政に役立つという点をよく考えて制度運用を図っていただきたい。

もう一点、平成 28 年度における職員数は何人か。

【事務局:森本課長】

4 月 1 日では 452 人となっておりますが、4 月途中採用者が 1 名おり 453 人となっております。

【角川会長】

職員が減少しているが、これは効率化が図られたということか、人員が足りないというわけではないのか。

【事務局:森本課長】

国の資料や道内他市の状況など踏まえると、概ね適正なレベルに近くなっているという状況ではないかと考えている。

課題としては専門職、特に土木や建築職の採用・配置を考えなければならないことと考えています。

【松谷委員】

実施計画の実績値で平成 28 年度の欄が空欄となっているところは、3 月末をもって明確になると理解してよいか。

【事務局:森本課長】

そのようにご理解いただいて結構です。

【橋本委員】

りんくるの相談窓口のワンストップ化はよい取り組みだと思う。

【柴田委員】

私も、りんくるの窓口ワンストップ化は評価する。

【上木委員】

人事評価制度について、自己評価が上手くできない職員もいると思うがそのような場合の対応はどう考えているのか。

【事務局:森本課長】

目標の項目を画一ではなく、担当による仕事の違いを踏まえて目標の立て方を分かりやすくするよう配慮をしている。また、目標の内容、数も評価者と面談しながら決めていくことを重視しながら平成 28 年度は試行している。

【上木委員】

合理化のみ追求することは組織としても問題があることなので、制度の運用にあたっては配慮して欲しい。

【角川会長】

本懇話会としては、毎年度計画の実施状況について審議の結果を市長に報告書として提出しておりますので、どのような報告書とするかご意見をいただきたい。報告書としてはお手元に昨年度の報告書をサンプルとして用意しましたので、これにならって、「総括意見」と「個別意見」としますか。

【向井委員】

将来的にも職員の研修は大事であり、e-ラーニングのみではなく能力を高めるためのいろいろな対面式や現地視察などの研修が必要である。

【能村委員】

貴重な意見と思うが、報告書の個別意見は現計画に載っている事業に対するものなのか。

【角川会長】

過去の例ではどのようになっているか。

【事務局:宇野主査】

直近の平成 27 年度報告書では現行の計画に乗っている事業へのご意見もあります。

【松谷委員】

それでは、橋本委員や柴田委員の発言にあって「りんくる」の相談窓口ワンストップ化について肯定的な意見の上でさらに進められたいということや、上木委員の発言にあった人事評価制度について工夫をしていくことを入れたらよいと思う。

【能村委員】

向井委員の発言にあった、e-ラーニングに限らず幅広い意味での対面的式の研修も必要であることもよいと思う。

【角川会長】

それでは、総括意見と個別意見をそれぞれ報告書に記載することとして、文言については会長一任で事務局と調整させていただいてよろしいでしょうか。

【各委員】 異議なし。

【角川会長】

それでは、次に進めます。前回懇話会から今日までの間における動きについて、当懇話会として共有すべき事項がありましたら説明をお願いします。

【事務局:宇野主査】

これまでの動きを時系列に説明します。

- ①1 月 13 日 第 4 回行政改革懇話会を開催しております。
- ②1 月 18 日 行政改革推進本部会議を開催し、パブリックコメントを行う素案の決定を行いました。
- ③1 月 23 日(月)～2 月 23 日(木)パブリックコメント手続きを実施しました。
- ④2 月 10 日(金)総務常任委員会が開催され、行政改革 2021(素案)について質疑がなされました。

また、パブリックコメントを実施した結果、2件の意見提出をいただきました。内容と対応案については、後段に説明します。まずは報告にとどめたいと思います。

【角川会長】

ただいまの事務局からの報告について、確認しておくことはありますか。

ないようですので、次に進みます。事務局から本懇話会に審議する事項があれば提示してください。

Ⅱ行政改革 2021 の本文の修正について

【事務局:宇野主査】

これまでの行革推進本部会議、総務常任委員会での質疑などを踏まえて、修正しようとする点についてご審議をお願いします。

修正をしようとする箇所・内容については次のとおりであります。

①本文 P3(2)「これまでの行政改革の評価と今後の課題」の6行目「継続しつつ、」の後に朱書き部分を追加修正しようとするものです。

②P3(3)「行政改革 2021 の策定方針」1から2行目までについて、「俯瞰」と「大局」の意味と文脈を整理し、朱書きのとおり修正しようとするものです。

③P4 3 今日的課題認識の以下について、分かりやすさや一般性の観点によるほか、タイプミスによる修正をしようとするものです。

1)「横連携」を「横断的」へ

2)「限界集落の」を「高齢化した」へ

3)「地域活性化、」空白となっていたスペースを詰めることとしました。

以上です。

【角川会長】

ただいま、行政改革 2021 について本文修正について説明がありましたが、ご意見などありましたらお願いします。

【各委員】なし。

【角川会長】

それでは、事務局から提案の修正内容について承認します。

次の審議事項があれば提示願います。

Ⅳ行政改革 2021 の実施計画(平成 29 年度)について

【事務局:宇野主査】

行政改革大綱で策定することとなっております事業計画案について説明申し上げます。
＜別紙実施計画案に基づき各事業の概要を説明＞

【角川会長】

ただいま事務局から説明のありました実施計画について、確認や質問などありましたらお願いします。

【松谷委員】

懇話会での議論した内容が見える形でいくつか盛り込まれている。

1 点目は、みんなで進める観光まちづくり。子どもたちに観光を通じて石狩の良さを理解してもらおうとする取り組みは評価できる。

2 点目は、交通網の組織横断的に取り組むこと。

3 点目は、人事評価制度の適正な運用

懇話会での議論が反映されていることは評価できる。

【能村委員】

資料のつくり方そのものが変わった。成果が数値で示すことが難しい事業があることが分かるよう様式にも工夫がなされており評価できる。

健全な財政基盤の構築に基づく実施計画の事業について、政策的な要素もあり単年度での目標値の設定が難しいというのは理解しました。財政状況は毎年一定の成果が得られるとは限らず、例えば後半に急激に好転したりするケースや最初に成果が見えて後半は緩やかに良好になったりと間の動きはあると思います。ただ、単年度の動きとして最終の目標値に近づいているのか、それとも厳しい状況なのかは知っておきたいと思いますので、情報の提供をお願いしたいです。

【事務局：及川部長】

ご意見の主旨について了解しました。そのような方向で提供申し上げたいと思います。

【向井委員】

ICT の活用については、これからの時代は必要な一方で、個人情報の管理体制をしっかりやって欲しい。

【事務局：及川部長】

分かりました。

【橋本委員】

休職・求職者の復帰支援と人材育成の施策は評価する。ぜひ進めて欲しい。

【柴田委員】

マイナンバーによる子育てサービスは子育て中の親にとっては利便性の向上につながると思う。

【飯尾副会長】

これまでの懇話会での議論を踏まえた実施計画となっていることは評価する。

【角川会長】

総合評価方式について、価格だけではない部分、地域貢献度の基準、現在行っている工事の有無、障がい者を雇用しているか、ボランティア活動をしているか、という総合的に判断した入札制度は全国的な流れになっているので、石狩市としてもぜひ取り組んで欲しい。

全体を通して何かありますか。

【能村委員】

財政状況の進捗について、報告することによりプラスになるような形で考えていただきたい。

【事務局：及川部長】

年次毎に結果として進んでいることが見えてくる形でよいかと考えています。

達成された数値は様々政策的な取り組みの結果であり、目標値になるように調整できるものではないが、年次の取り組みが全体として目標に近づいているか、離れているのかは確認できた方がよいと思う。

【角川会長】

本件についても、本懇話会として報告書を市長に提出します。サンプルとしてお手元に配付をしておりますが、総括意見としては案文のとおりで問題ないかと思います。また、個別意見については、先ほど各委員からご意見があったものを盛り込むということでいかがでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【角川会長】

ご異議なしということですので、それでは個別意見に関する文言等については会長ご一任で事務局と調整させていただくことでよろしいでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【角川会長】

その他、事務局からありますか。

【事務局：宇野】

パブコメの結果及び対応について、本懇話会でご審議いただいている大綱へのご意見ということで、委員のみなさまにも承知いただきたく説明申し上げるものです。ただし、本資料の原文は公表されないことから、会議終了後に回収をさせていただきます。

これら2件のご意見について、いずれも大変貴重なご意見と考えてございます。部内において、現在対応案を作成しているところではありますが、いずれも行革大綱本文自体に修正を強く求めるものでなく、今後の取り組みに反映されることを望まれているものと判断しております。

このことから、別紙のとおり「参考とする」対応することとし、市長決裁を経て3月中にホームページで、また広報5月号で公表とする運びを考えております。

【角川会長】

ただいま事務局から報告と対応の方向性について説明がありましたが、確認等ございますか。ないようですので、事務局案の方向について懇話会も理解します。

今後のスケジュール等も含めて事務局から説明願います。

【事務局：宇野】

各報告書については、個別意見については会長と調整させていただき決定させていただきます。

【角川会長】

報告書について委員みなさんにも確認をしてもらってください。

【事務局：宇野】

承知しました。

【角川会長】

今年度最後の懇話会ですので、委員のみなさんから一言ずつお願いします。

【橋本委員】

大変勉強になった。懇話会での議論が実施計画に反映されており評価します。

【向井委員】

大綱と実施計画のとりまとめご苦労様でした。今後しっかりと行政改革を進めてもらいたい。

【能村委員】

資料づくりにも工夫をこらし、努力を評価する。大綱を見やすく作るという努力が見受けられた。

【飯尾副会長】

石狩市をよくするために行政として何をすべきかということがよく分かる内容になっていると思う。

【松谷委員】

懇話会で現地視察をしたことにより、石狩市内での様々な動きが理解できるよい機会となった。

【上木委員】

行政職員が石狩市役所、石狩市をよくしようとしている姿勢がよく伝わった。

【芝田委員】

懇話会を通じて自分自身も勉強になった。石狩市を学ぶことができた。今後の議論に活かしていきたい。

【角川会長】

数年前の経費節減、財政逼迫がメインテーマだったが、最近はそれだけでは不十分であり、人材育成、市民サービスの向上、石狩の発展といった方向性に沿った提案が盛り込まれた計画が出てきたと実感している。合理的な思考は必要だが、人事評価をとってみても機械的に評価するのではなく、上司と部下が面と向かって会話を通して行うことが大事だと思う。また、合理化の面で言えば、市民と職員が接するところは人間的な対応であるアナログがよく、書類やデータの処理など机でできる業務自体はどんどん合理化していくという使い分けする姿勢が大切だと思う。

本日はこれで散会したいと思います。委員のみなさま本日は大変お疲れ様でした。

(閉会)

平成 2 9 年 4 月 2 8 日 議事録確定

石狩市行政改革懇話会 会長 角 川 幸 治